

基本契約の概要(保険をお支払いする場合)

プラン1では、レンタサイクル事業者の法律上の賠償責任を補償します。
 プラン2では、プラン1の補償に加えて、自転車の借り主が運転操作誤り等で他人に衝突した場合などの第三者に対する法律上の賠償責任も補償します。
 レンタサイクルのみを対象とします。

プラン1

レンタサイクルの整備不良が原因で利用者が自転車を運転中に通行人と衝突してケガをさせた。



プラン2

レンタサイクルの利用者の操作ミスで自転車を運転中に通行人と衝突してケガをさせた。

お支払い保険金の種類

この保険では、事故が発生してから損害賠償金のお支払いに至るまでに発生する以下の費用に対して保険金をお支払いします。

保険金の種類	概要	支払い限度額
損害賠償金	被害者に支払うべき法律上の損害賠償金をお支払いします。 〈身体賠償事故の場合〉 治療費、医療費、慰謝料など 〈財物賠償事故の場合〉 修理費、再調達に要する費用など ※修理費および再調達に要する費用は、その損害にあった財物の時価額を超えない範囲でお支払いします。	1事故(対人の場合は1名1事故あたり) 1億円 ※1回の事故について身体障害・財物損壊それぞれの損害額を合算して1億円限度
被害者対応費用	対人事故が発生した場合に、償習として支出した見舞金または見舞い品の購入費用や、対物事故が発生した場合に臨時に必要とした費用を補償します。	被害者1名(法人の場合は1法人) ・対人見舞費用 死亡の場合 10万円 死亡以外の場合 2万円 ・対物臨時費用 2万円 保険期間中 1,000万円限度とします。
事故対応特別費用	基本補償の対象となるような損害賠償請求がなされた場合、あるいは損害賠償請求が発生するおそれがあることを貴社(被保険者)が知った場合において、貴社(被保険者)がその対処のために支出した費用(文書作成費用、交通費、事故現場の調査費用、記録費用・通信費用など)を補償します。	保険期間中 1,000万円限度とします。
人格権侵害補償	保険期間中に、貴社(被保険者)の業務上の行為に起因する人格権侵害または宣伝障害(不当な身体拘束による第三者の自由の侵害や名誉棄損、プライバシーの侵害、著作権侵害等)について、貴社(被保険者)が法律上の賠償責任を負担することによって被る損害を補償します。	被害者1名につき100万円 1事故・保険期間中 1,000万円限度とします。

※支出にあたり、事前に引受保険会社の同意が必要な費用もあります。

保険金をお支払いできない主な場合

保険金をお支払いできない主な場合は、以下の通りとなります。

- ① 保険契約者または被保険者の故意によって生じた賠償責任
- ② 戦争、外国の武力行使、革命、政権奪取、内乱、武装反乱その他これらに類似の事変または暴動(群衆または多数の者の集団の行動によって、全国または一部の地区において著しく平穏が害され、治安維持上重大な事態と認められる状態をいいます。)に起因する賠償責任
- ③ 地震、噴火、洪水、津波またはこれらに類似の自然現象に起因する賠償責任
- ④ 被保険者と世帯を同じくする親族に対する賠償責任。ただし、保険金を支払わないのは、その被保険者が被る損害にかぎります。
- ⑤ 記名被保険者および記名被保険者の使用人等が記名被保険者の業務に従事中に被った身体の障害によって生じた賠償責任
- ⑥ 排水または排気(煙または蒸気を含みます。)によって生じた賠償責任
- ⑦ 被保険者と他人との間に損害賠償に関する特別の約定がある場合において、その約定によって加重された賠償責任など

よくあるご質問

	質問内容	回答
1	レンタサイクルを借りた方が事故を起こされた場合の補償はありますか？	プラン1は補償されません。 プラン2では借り主の自転車事故による賠償責任も補償されます。
2	レンタサイクルを借りた方のケガの補償はありますか？	この保険ではレンタサイクルを借りた方のケガは補償されません。
3	賠償事故の相手方と示談交渉をしてもらえますか？	この保険には示談交渉サービスはついておりません。示談交渉を進めるためのご相談(ご支援)をさせていただきますので、必ず保険会社にご相談いただきながら示談交渉をお進めください。
4	人格権侵害補償はどのような場合に補償されますか？	例えば許可なく広告にイラストを使用して、著作権を侵害していると損害賠償請求をされた場合やハラスメントや差別的な扱いをしたことにより精神的苦痛を受けたとしてお客様から損害賠償を請求された場合が対象となります。
5	通常の自転車の他、電動アシスト自転車、電動キックボードをレンタルしています。いずれも補償されますか？	この保険では「電動キックボード」は補償されません。「電動キックボード」については「自動車保険」での補償対象となります。 なお、「通常の自転車」と「電動アシスト自転車」は補償対象となります。